



2009年11月18日

ライオンズクラブ国際協会330-A地区
各クラブ会長・幹事・事務局 各位

ライオンズクラブ国際協会330-A地区
ガバナー 岡野 忠生
広報委員会委員長 L 近藤 正彦

【重要】“eMMR”移行に関して国際協会よりのお願い

(会員情報整備・サバンナ締切日変更のご連絡)

330-A地区各クラブのサバンナご担当者におかれましては、日頃より月次報告の期限内入力にご協力いただきありがとうございます。

さて今回、国際協会の要請によりライオン誌日本語版委員会では新しい報告システム“eMMR”(Electronic Monthly Membership Report)の来年3月運用開始に向けて準備作業を進めております。このeMMRにより、現在WMMRで行っている国際本部への月次会員報告は、地区キャビネットおよびライオン誌への月次会員報告に使用しているサバンナシステム上から入力・送信を行うことに変更されます。その結果、国際本部システムの会員情報と地区およびライオン誌の会員情報が完全に同期され精度が高まり、同時にご担当者の皆様の作業軽減となる見込みです。

つきましては、“eMMR”への移行に関しまして、下記1) 2)の事項をお願いいたします。また、会員情報の整備、ならびに“eMMR”についての説明文を資料として添付いたしますので、ご一読いただきますようお願いいたします。

- 1) 上記のeMMR報告システムを稼働させるためには、サバンナの会員情報に国際協会の会員番号が正しく登録されている必要があります。各クラブご担当者の皆様はクラブのすべての会員のデータに会員番号が完全・正確に登録されているか11月末日までにチェックをお願いいたします。

サバンナへの会員番号の完全入力：11月末日までにお願いします。

- 2) 現在サバンナによる月次報告の期限は翌月7日までとなっておりますが、上記のようにWMMRにデータを反映させるためには当月末日までの入力が必須となります。

つきましては、サバンナによる月次報告の締切日を来年(2010年)1月分報告より当月末日と変更いたしたく、各クラブご担当者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

サバンナの月次報告締切日：当月末日までに変更(2010年1月分報告より)

2010年1月分入力期間：1月25日(月)～1月31日(日)

※2010年2月分以降の入力期間については、検討の上、改めてご連絡申し上げます。

以上ご協力の程、宜しくをお願いいたします。

eMMR運用開始に伴う会員情報整備のお願い

2009年9月にご報告の通り（別紙参照）、当ライオン誌日本語版委員会では現在、国際協会からの要請に基づき、新しい報告システムeMMR（Electronic Monthly Membership Report）の構築に向けて作業を進行中です。このeMMRは日本で使用しているオンライン報告システム「サバンナ」上での入力・送信が可能であり、現在は、サバンナの会員動静に国際協会会員報告用の1バイト（英数）文字の入力欄を追加及び、国際本部に用意された日本用のテスト・サーバーとの通信テストが完了しています。

今後、システム的には、テスト版を使用してeMMRの各種動作テストを継続して行うことになります。

eMMRシステムの運用開始は、2010年3月分報告をめぐり国際協会と調整しておりますが、運用開始に向けて各地区において、サバンナに登録されている会員情報の整備を進めて頂きたいとご案内申し上げます。

●具体的なデータ整備に関して

既報の通り、eMMR報告（サバンナからの国際協会報告）をするためには、サバンナの会員情報に国際協会の会員番号が正しく登録されている必要があります。現時点では多くの地区において、すべての会員に会員番号が入力されている状態ではありません。従いまして、各クラブが国際協会会員番号を正しく入力するよう、出来るだけ早い時期にご指導をお願い申し上げます。

eMMR運用開始に伴う作業の流れは別記致しますが、eMMRへの移行において、現在使用している国際協会の報告システムWMMRと日本の報告システム「サバンナ」の会員登録状況に差異があった場合、WMMRに登録されている情報を優先することになります。

ライオン誌日本語版委員会では、各地区のデータ整備の参考に、2009年11月末時点でWMMRに登録されている会員情報と、サバンナに登録されている会員情報の対比リストを12月中旬に各準地区キャビネットあてに送付致します。そのリストをご確認頂き、サバンナに登録されている会員情報がWMMRに登録されている会員情報と同一となるよう登録状況の整備をお願い致します。

この際、送付するリストには、以下の情報が含まれます。

＜会員番号・姓・名・性別・家族会員区分＞

eMMRへ移行する時点で、上記項目に関しては最低限一致している必要があります。

実際にeMMRが運用開始されるのは最短で2010年3月分報告からとなりますが、早急にサバンナの登録情報の整備を行うよう地区内クラブへの指導を徹底くださいますようお願い致します。

●切替時における作業について

■2010年3月分報告から運用開始の場合（確定スケジュールは国際協会と調整の上、改めてご連絡します）

●2010年3月1日（月）午前0時をもって、WMMR及びサバンナを一時停止します。

●WMMRに登録されている会員情報とサバンナの会員情報の照合作業を行います。

※この時点ではまだeMMRは稼働していません。

●3月5日（金）までに、WMMRとサバンナの各会員情報で結びつかなかった会員の情報を各地区へ送付します。

※WMMRとサバンナに同一会員番号で存在する会員については基本的に同一人物と見なしそのままeMMRに移行されます。

●3月8日（月）に、サバンナのみ運用を再開します。この時点でWMMRは停止中です。このときから12日

(金)までの間にサバンナ登録情報の最終整備（WMMRとの整合性の確保）を行って頂きます。

- 3月13日(土)午前0時をもって再度サバンナを停止します。
- 3月16日(火)、eMMRの運用を開始し、3月分報告を開始して頂きます。

●WMMRとサバンナの会員結合エラーの対応と問題点

WMMRとサバンナの結合エラーには、以下のケースが想定されます。それぞれの場合によって、対応が異なります。

＜WMMRには存在するがサバンナに存在しない会員があった場合＞

1. サバンナに会員番号が登録していないことが原因の場合
→前述の整備期間中に、サバンナに正しい会員番号を登録して頂きます。
2. サバンナに登録されている会員番号が間違っていたことが原因場合
→前述の整備期間中に、サバンナに正しい会員番号を登録して頂きます。
3. WMMRに対して退会（または転出）の登録が行われていなかったことが原因の場合
→3月16日のeMMR運用時点で、WMMR情報に基づいて会員として存在しますので、運用開始後退会の処理を行います。（国際協会へは、2009年3月の退会として登録することになります）
4. サバンナに対して入会（または転入）の登録が行われていなかったことが原因
→前述の整備期間中に、サバンナに入会または転入の処理を行う。（サバンナ上では2月分入会として処理）

＜WMMRには存在しないがサバンナに登録されている会員があった場合＞

5. WMMRに入会（または転入）の登録をしていなかったことが原因
→3月16日のeMMR運用時点で、WMMR情報に基づいて会員として存在しないので、運用開始後新規に入会（または転入）の処理を行います。（国際協会宛にも地区・ライオン誌あてにも3月の入会として登録することになります）

※特に上記5.の事例のように、地区及びライオン誌には会員として登録されているが、国際協会に会員として登録されていない会員があった場合、その会員が一時リストから消えるという状況となります。

●eMMR運用開始時に整合性が取れていない会員情報について

前述の最終データ整備期間後、eMMRが運用開始された時点で、会員は国際協会に登録されている（WMMRに登録されていたデータ）会員のみとなります。サバンナに会員番号の登録されていない会員の日本語で入力されていた情報はすべて消去され、国際協会に登録されている情報のみが表示されるということになります。

この場合、eMMR運用開始後、改めて日本語の情報を登録し直して頂くことになります。

月次報告の性格上、移行期間の作業日程を十分にとることが出来ません。お手数をお掛けしますが、ご協力の程よろしくお願い致します。

※なお、この件に関するお問い合わせはemmr@thelion-mag.jpあてに電子メールにて送信してください（必ずご担当者のお名前、返信先電子メール・アドレス、電話番号をお書き添えください）。メールは当委員会ITアドバイザー及び担当職員に配信されますので、折り返しメールもしくは電話にてご連絡させていただきます。

参考資料：国際協会eMMRシステムに関するご説明

2009年9月11日に各地区あて送信した表題の文書をもとに、経緯と今後の予定を再度ご説明します。

ライオン誌日本語版委員会では現在、国際協会からの要請に基づき、国際協会の新しい報告システムeMMRに合わせてオンライン報告システム「サバンナ」に機能を追加する作業をしております。新年度に入り、8月25日の八複合地区ガバナー協議会議長連絡会議に大島康男委員長と荘英隆ITアドバイザーが、更に同IT委員長連絡会議に小柴登司ITアドバイザーが出席させて頂き、これまでの経過と現状などをご説明しました。そこで各地区の皆様にも、同様の説明をさせていただきます。

●システム名：

Electronic Monthly Membership Report (eMMR)

eMMR導入国（2006年1月1日～）：Sweden (MD101) ／Switzerland (MD102) ／Netherlands (MD110) ／Germany (MD111) ／Austria (MD114)

eMMR導入予定国：France (MD103) ／Finland (MD107) ／Italy (MD108) ／Belgium (MD112)

●経緯

昨年後半、国際本部から非公式に、ライオン誌日本語版委員会が管理している「サバンナ」からオンラインで、国際本部への会員報告を行うことの可能性について打診があり、いくつかのやりとりを重ねておりました。その後、今年2月24日付で、ピーター・リンチ国際本部長から当時の山根健ライオン誌日本語版委員長あてに、eMMRシステムの導入について、準備検討を依頼する文書が届きました。

これを受け、当委員会としては、国際協会と協調して、更にオンライン化を推進することを決定し、併せて山根委員長と小柴登司ITアドバイザーが、3月30日に開催された前年度のガバナー協議会議長連絡会議に出席し、この件について報告を行い、各議長にご了解頂きました。

また、5月に開催された公式版ライオン誌編集者会議の折、当時の坂井正編集長が本部の関係者と打ち合わせをし、またサバンナを開発したシステム会社とも話し合いを重ねた結果、6月からeMMRの構築に向けての実作業が始まりました。経費はシステム会社の見積をもとに約100万円を見込み、本部からシステム変更に対して支払われる4千ドルを除き、当委員会の本年度予算に65万円を計上（事務改善等積立金から繰入）しました。

その後、最初の作業として、サバンナの会員動静にWMMR会員報告と同じ1バイト（英数）文字の入力欄を追加しました。続いて国際本部内に日本用のeMMRテスト・サーバーが用意されたため、サバンナとの接続テストを行いました。これは現在も、継続してテストを重ねています。

●今後の作業

「eMMR運用開始に伴う会員情報整備のお願い」をご覧ください。

※なお現在、地区／ライオン誌連動型サバンナを導入、または導入を予定している地区は35の準地区中32地区を数えますが、未導入の3地区（331-C地区／332-C地区／332-F地区）については、サバンナにおけるキャビネット権限を有していないため、会員情報の整備作業について、別途ご相談させていただきます。